



福島県では、ふくしまに想いを寄せる方々の協力を得ながら、ふるさと復興の決意を新たに、ふくしまから“共に”新たな何かをはじめめる活動として「ふくしまからはじめよう。プロジェクト」を展開しています。

全国新酒鑑評会で金賞受賞数4年連続日本一

福島県 県産品振興戦略課

平成27酒造年度（平成27年7月～平成28年6月）の清酒の品質を競う全国新酒鑑評会において、福島県は18銘柄が金賞に選ばれ、金賞受賞数4年連続日本一に輝きました。これは東北初の快挙であり、今回で通算6度目の日本一となりました。

本県酒造業者の高い技術とたゆまぬ努力によって作り上げられた「ふくしまの酒」の品質が、今年も高く評価されました。

ホームページで詳しい情報を公開しています。

[県産品 4年連続](#)

[検索](#)



金賞を受賞した18銘柄

酒処 ふくしま

全国新酒鑑評会は、独立行政法人酒類総合研究所と日本酒造組合中央会の共催で行われる国内最大規模の新酒鑑評会です。第1回は明治44年に開催され、今年で通算104回目になります。

福島県内からは41の蔵元（製造場）から41銘柄が出品され、26銘柄が入賞、うち全国最多の18銘柄が金賞に選ばれました。これは、伝統の上に研鑽を積み重ねてきた蔵元の熱意と努力、さらには福島県全体のレベルアップを目指そうという取り

組みが実を結んだ結果でもあります。

県清酒アカデミー

福島県には、県内の酒蔵で働く若手が会社の枠を越えて集まり、3年間かけて酒造りの技術や知識を習得する学び舎、「県清酒アカデミー」があります。醸造学や食品衛生法などの専門的テーマについて学び、「きき酒」の訓練や日本酒の醸造などの実習を行うカリキュラムにより、未来の杜氏が育っています。

福島県の日本酒PR動画

県内の蔵元が造る日本酒には、「より良いもの」「よりおいしいもの」を全国の皆さんにお届けしたいと日々努力を重ねる「蔵人たちの誇り」が詰まっています。受け継がれる伝統と不断の鍛錬、未来への挑戦が生み出す「ふくしまの酒」の魅力と蔵人たちの熱い思いを多くの皆さんに感じていただけるよう、動画を制作しました。福島県日本酒の魅力の世界と日本、それぞれの観点からまとめた「世界でいちばん編」「日本でいちばん編」の他、ロングバージョンの3分編もあります。どうぞご覧ください。

ふくしまプライド 日本酒 ↗



「日本でいちばん編」より



醸造酒の製造作業に取り組むアカデミー生

銘酒と蔵人に会いに行こう

金賞受賞した酒蔵をはじめ、県内の約50カ所の酒蔵を巡ってポイントを集める、「ふくしま酒蔵巡りスタンプラリー」を開催中。素敵な賞品が800名様に抽選で当たります。友人やご家族とふくしまの酒蔵巡りに出かけてみませんか。



福島県の金賞受賞銘柄（平成27酒造年度）

銘 柄	蔵 元（市町村）
廣戸川	松崎酒造店（天栄村）
穂	仁井田本家（郡山市）
あぶくま	玄葉本店（田村市）
三春駒	佐藤酒造（三春町）
奥の松	東日本酒造協業組合（二本松市）
会津中将	鶴乃江酒造（会津若松市）
名倉山	名倉山酒造（会津若松市）
嘉永蔵大吟醸	末廣酒造嘉永蔵（会津若松市）
弥右衛門	大和川酒造店（喜多方市）

銘 柄	蔵 元（市町村）
会津ほまれ	ほまれ酒造（喜多方市）
大吟醸きたのはな	喜多の華酒造場（喜多方市）
國権	国権酒造（南会津町）
榮四郎	榮川酒造（磐梯町）
会津栄川	栄川酒造（西会津町）
玄宰	末廣酒造博士蔵（会津美里町）
萬代芳	白井酒造店（会津美里町）
學十郎	豊国酒造（会津坂下町）
一生青春	曙酒造（会津坂下町）